

EVENT

「Enjoy Honda万博記念公園」へ出展

9月15日～16日の2日間、大阪万博記念公園にて開催されたEnjoy Hondaでホンダ学園のPR活動を行いました。Enjoy Hondaは大人から子供まで楽しめる体験型のイベントも多く、今回初めて大阪で開催されましたが、1万人を超える方にご来場いただきました。

学生たちはキッズメカニック学園というイベントで体験コーナーの対応をしたり、バイクの組立パフォーマンスをしたりと大忙し。たくさんの方に来場して頂き、Hondaの自動車大学校を知っていただく機会となりました。

今年のEnjoy Hondaでは全10会場のうち4会場を関西校として担当し、Hondaのアフターマーケット課と共同でブース出展しました。来年も同様に実施していく予定ですので、お近くで開催された際には是非お立ち寄り下さい。



メカニック体験をする来場者の様子

エコラン同好会

エコマイレージチャレンジ2019全国大会

エコラン同好会は、9月28日～29日に栃木県のツインリンクもてぎで行われたエコマイレージチャレンジ全国大会に出場しました。今年は、昨年までとは異なるエンジンと車体での出場に挑みました。準備に時間がかかり、テスト走行の直前まで作業を行う状況でしたが、何とか間に合わせる事が出来ました。

テスト走行では、順調に周回を重ねていきましたが、終盤に後輪がパンクするアクシデントに見舞われました。学生たちが一丸となって取り組んだ結果、無事に車検を通過しレース本番で順調にスタートを切りましたが、今度はドライブチェーンが外れるトラブルが発生。修復するものの、規定時間内にゴール出来ず、タイムオーバーとなりました。

記録を伸ばすことが出来ず、残念な結果となりましたが、学ぶことも多く、一人ひとりが成長をすることの出来た貴重な機会となりました。



テスト走行前のマシン



レースに挑む様子

サイクルスポーツ同好会

「シマノ鈴鹿ロードレース」に参加

サイクルスポーツ同好会は、9月1日(日)に「シマノ鈴鹿ロードレース」に参加しました。

毎年のべ1万人以上が参加する、国内最大級のロードレース大会です。今回エントリーしたのは鈴鹿サーキットのフルコース2周(11.6km)の部です。レース当日の気温は高く、涼しい気候に慣れてしまった身体には厳しいコンディションとなりました。

参加した学生は経験者ということもあり、上位に食い込むのではとの期待が高まりましたが、厳しいコンディションに思うようなレース運びとはならず、94位/111台、77位/98台という結果となりました。学生は持てる力を出し切ってレースを楽しんでいました。

今回の反省を活かして、来年へ向けレベルアップしてくれることを期待します。



部員達で記念撮影



レース中の様子

新同好会 H-TEC R&M

「N-ONE OWNER'S CUP」に参戦します

「四輪のレース活動をしたい!」という学生の熱い要望に応え、レース活動を通してより高度な知識と技術を身に付けることを目的に今年度より同好会「H-TEC R&M」を設立いたしました。Rはレーシング、Mはメカニックの意味です。

活動に先立ち、Honda Cars大阪様、Honda Cars泉州様、Honda Cars奈良中央様、Honda Cars南海様、Honda Cars南河内様、Honda Cars西神戸様、Honda Cars北河内様、Honda Cars北大阪様、Honda Cars姫路中央様、Honda Cars山陽様、Honda Cars綾部中央様に絶大な支援を頂きました。ありがとうございました。

11月17日にオートポリスで行われるN-ONE OWNER'S CUP参戦を目指し、一級自動車整備研究科3年生を中心に1・2年生、自動車整備留学生科メンバーが一致団結し、9月13日から本格的に車両製作に入りました。

完成にはまだまだ時間を要しますが、車両製作をしっかりと進めています。応援宜しくお願いします。



部員達の集合写真



R&Mロゴマーク

EVENT

「RED BULL BOX CART RACE」に参加

10月6日(日)に東京にて行われた「レッドブルボックスカートレース」。Aston Martin Red Bull Racingのマックス・フェルスタッペン選手がデザインし、学生達が製作したボックスカートで参戦しました。

ボックスカートレースとは、動力を搭載していない手作りのカートを坂道の上から転がし競いあう「おバカなレースに大まじめ」をテーマにしたレースです。自ら志願し、選ばれた1年生中心の製作メンバーは、オレンジで彩られたレーシングマシンのデザイン画を基に、注文どおりに作るにはどうしたらよいか、試行錯誤。中々計画通りには進まず、カートが完成したのは輸送直前となりましたが、一人ひとりが持ち味を活かしてカートを作り上げました。

当日は晴天の中、ゴール直前でバンク走行に挑み、フロントウイングが破損するアクシデントがあったものの、無事にゴールし、一安心。自らの手で作り上げる楽しさ、難しさ、喜びを感じることができた貴重な経験となりました。



マシンと共に記念撮影



マックス・フェルスタッペン選手の直筆サイン



マシンの製作に試行錯誤する学生達



大会後のマシン展示



車検プレーキテストの様子

EV同好会

「Ene-1 GPのKV-BIKE」に出場

EV同好会は8月4日(日)に鈴鹿サーキットで行われた「2019 Ene-1 Challenge」に出場しました。昨年までとは異なり、今年は「KV-BIKEチャレンジ」にエントリーしました。KV-BIKEでは充電式単三電池40本を動力源とし、鈴鹿サーキット東コース1周(2.243km)のタイムアタックと60分のロングディスタンスの合計ポイントで競います。

タイムアタックでは9分20秒で33位と出遅れたものの、ロングディスタンスでは26位と盛り返し、総合28位、大学・高専・専門学校部門では8位を獲得しました。

KV-BIKEへの初挑戦となった今回、部員一丸となって完走を果たすことが出来、大きな成長にも繋がりました。



今年KV-BIKEチャレンジにエントリー

部員一丸となって挑戦

走行の様子

二輪整備同好会

「Mini-Moto4耐レース」に参戦

二輪整備同好会は、9月8日(日)三重県鈴鹿サーキットで行われた「鈴鹿Mini-Moto4時間耐久レース」へ初めて参戦しました。

9月6日(金)から行われた受付や車検などを学生のみで進め、予選へ。出走台数が96台と非常に多く、無事通過することができました。

迎えた決勝レースでは、学生がサイン、メカニック、燃料補給、ライダーとして、それぞれの役割を責任を持ってこなし、順調に周回を重ねますが、スタートから40分過ぎに2コーナで転倒。その後は順調に周回を重ねていきましたが、チェッカーまで約1時間というところで赤旗が出され、そのままレース終了。結果は規定周回数不足で完走とはならず、悔しい結果となりました。

この3日間は、以前出場していた8時間耐久ロードレースと変わらない感動や達成感を得ることができ、レース完走という目標に向け、一人ひとりが責任の重大さ、チームワークの大切さなどを学ぶ良い経験となりました。

初めての参戦となった今年は手探りのような状態でしたが、来年に向けこの経験を活かせるよう、活動を継続します。応援して下さい皆様、ありがとうございました。



会場内で記念撮影



退任の挨拶



学務室 永尾 信弘

10月1日(火)付でHondaの和光本社へ異動となり、関東校と関西校合わせて18年半の学園生活から全く新しい分野で仕事をする事になりました。

学生の皆さんには若さと元気をもらいました。私はHondaの原点は若さだと思っています。実年齢にとらわれず常に若い気持ちを持ち続けて、みんなでHondaグループを盛り上げていきましょう。ありがとうございました。

学生募集中

本校はHonda Cars店、Honda Dream店をはじめとする自動車関連企業へ多くの人材を輩出しております。今後も本校はHondaグループの一員としてHondaで働く人材育成の担い手として、学生を募集してまいります。皆様のお知り合いの方々で自動車関連業界への就職にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ本校をご紹介くださいますようお願い申し上げます。